

## チュートリアル課題 よく眠れました

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-01-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00031807">https://doi.org/10.20780/00031807</a>

2012年度          Block. 4

課 題          No.4

課題名：よく眠れました

課題作成者：麻酔科学

山縣克之



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

麻酔科研修医A医師は胃の手術を受けるBさんの術前診察のため、病室へ向かいました。

やや緊張した面持ちのBさん、なんだか不安そうです。

A医師は医療面接を行い、麻酔を行うために必要な検査と身体所見をチェックしました（「ASA分類でクラス・・・だな」）。

麻酔はバランス麻酔で行う計画を立て、当日用いる麻酔薬を思い浮かべながら、Bさんに対して硬膜外麻酔を併用した全身麻酔の説明をしました。

A医師「質問などはありませんか」

Bさん「ちょっとよろしいでしょうか・・・」

注) ASA分類 (ASA physical status classification system)

シート2

Bさんは20年前に交通外傷の緊急手術で全身麻酔の経験がありました。その際に手術途中から「これは酷いな」「血が止まらないな」等の話し声が聞こえ、かと言って身動きもとれずに辛かったことを今でも鮮明に思い出し、苦しいと語ってくれました。

A医師は思いがけない話に戸惑い、手術室に戻って指導医Cに報告しました。

指導医C「なるほど、Bさんは術中覚醒が起きやすい状況だったのかも知れないな。そうだ、いい機会だから全身麻酔薬の作用機序について調べてみよう」

指導医C「あと、不安を和らげるように説明をすることが大切だね。これから、Bさんのところへ行こう」

シート3

手術当日、Bさんは病棟で筋肉注射を打たれ、少しウトウトしました。

手術室に入ったBさんに、A医師は全身麻酔を行う際に必要なモニターを装着しました。

硬膜外麻酔のカテーテル留置をし、全身麻酔導入後のマスク換気、気管挿管ともにスムーズに終わりました。

そして、バイタルサインと手術の進行をみながら麻酔維持を行いました。

術中、血圧が低下する場面がありましたが、A医師は適切に対処し、手術は無事終了しました。

Bさんは速やかに覚醒して、抜管後に予定通り麻酔後回復室へ入室しました。

シート4

手術の翌日、A医師は術後診察に向かいました。

病室に入ったA医師をBさんは笑顔で迎え入れました。

A医師「ご気分はいかがですか（術後合併症は特になさそうだな・・・）」

Bさん「主治医の先生も手術はうまくいったと言っていたし、今回はちゃんと眠っている間に終わって本当に良かったよ。あと、心配していた手術後の痛みもコレのおかげで大丈夫、痛くなってきたらこうすればいいんだ」

こう言いながら、Bさんは硬膜外麻酔の持続注入ポンプについているボタンを押すまねをすることでした。